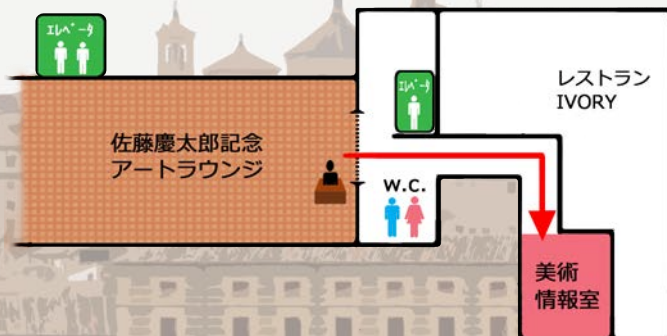



美術情報室について

美術情報室は、東京都美術館 1 階の佐藤慶太郎記念アートラウンジにある《佐藤慶太郎像》横の自動ドアを通り抜けて、突きあたり右手にございます。



美術情報室の資料は、どなたでも自由に閲覧することができますが、貸出は行っておりません。詳しいご利用方法については、別紙「ご利用案内」をご覧ください。

ライぶらり vol.3
エル・グレコ展編

発行：  東京都美術館 × 東京藝術大学
とびらプロジェクト 2013年2月15日

執筆：とびラー

編集：kamiya / narushima / ohara / sato / suzuki / tamai / yamanaka / yoshikawa

協力：東京都美術館 美術情報室

「とびらプロジェクト」とは、美術館を拠点に、アートを紹介したコミュニケーションを促進し、オープンで実践的なコミュニティの形成を目指すプロジェクトです。美術館での体験が人々にとってこれまでよりも深められ、新たなコミュニケーションを生みきっかけとなることを目指します。そして、美術館のある暮らしの中のさまざまな体験の質を深め、共有する場を支え、アート・コミュニティをつくっていくのがアート・コミュニケーター「とびラー」です。このプロジェクトは、東京都美術館と東京藝術大学が協力して運営していきます。

東京都美術館の特別展・企画展に関連する書籍を紹介する情報誌



美術情報室で
アートを読もう！

東京都美術館の1階に
美術情報室という
図書室があるのをご存知でしょうか？
落ち着いた雰囲気の中で
本を楽しむことができます。

EL GRECO

—エル・グレコ展編—

2013年1月19日(土)~4月7日(日)

おすすめ書籍一覧



「絵画で読むグレコのスペイン」

中丸明(著), 1999年

スペインを「生まれてくる故郷」だったとする著者が軽妙な語り口で綴る、旅行ガイドのような一冊。スペイン小史、宗教、グルメ…などなど、様々なマメ知識が楽しめます。中でも、「もし1日しかスペインにいられないのだったら、迷わずトレドに行け」といわれる古都トレドの紹介は充実。これを読めばグレコが後半生を過ごしたトレドを身近に感じられるかも？

著者のトレド好き ★★★★★
ガイドブック度 ★★★★★
カラー図版度 ☆☆☆



「El Greco」

David Davies(編), 2003年

2003年～2004年にメトロポリタン美術館とロンドン・ナショナルギャラリーで開催されたエル・グレコ展の図録です。今回の展示作品も多数紹介されています。全体像だけでなく、絵の一部分のアップが見られたりするので、展覧会の復習にもオススメ。人目を気にせず、かぶりつきで見られますよ！全編英語ですが、眺めてるだけでも面白いです。

絵の充実度 ★★★★★
細部まで見られる度 ★★★★★
英語度 ★★★★★



「エル・グレコの生涯 1528-1614 神秘の印」

ヴェロニカ・プリューン＝デ・オーサ(著), 鈴木久仁子, 相沢和子(訳), 1995年

エル・グレコが見習い画家から歴史に名を残す巨匠になっていく様を描いた歴史小説。ティツィアーノやティントレットなどイタリア絵画ファンなら誰もが知るビッグネームがグレコの画業の歩みに深く関わっているのも興味深い。グレコの様々な名作が登場するので、画集を片手に読み進めると楽しさ倍増です！

歴史ロマン度 ★★★★★
読みやすさ度 ★★★★★
ちょっと専門的度 ★★★★★



「西洋シンボル事典 —キリスト教美術の記号とイメージ」

G. ハインツ＝モア(著), 野村太郎, 小林頼子(監訳), 1994年

キリスト教絵画を見ているとき、なんでこんなものがこの場面に描かれているのだろう？鍵を持った人物は一体誰？と思ったことはありませんか？そんな時に役に立つのがこの事典。絵画の中に象徴として描かれる事物が網羅されており、引けば場面や主題の意味が分かります。鑑賞がもっと楽しくなること間違いなし。

知識充実度 ★★★★★
かゆいところに手が届く度 ★★★★★
鑑賞お役立ち度 ★★★★★



「プラド美術館 —絵画が語るヨーロッパ盛衰史—」

中丸明(著), 1995年

名画の裏話満載の一冊。本書は、スペイン・マドリッドにあるプラド美術館の所蔵作品を中心に、主題や成立の経緯、来歴など絵画にまつわるあれこれを、ヨーロッパ史のダイナミズムに絡めて解き明かします。軽妙な語り口でページを繰る手が止まらない！お手に取る方は徹夜覚悟でお臨みください！！

グレコフィーチャー度 ★★★★★
赤裸々度 ★★★★★
図版充実度 ★★★★★



「すぐわかる キリスト教絵画の見かた」

千足伸行(監), 2005年

キリスト教絵画を理解するための入門書としてオススメの一冊。旧約聖書から新約聖書まで流れに沿って、主なストーリーとそれに代表される絵画がおおよそ80点紹介されています。キリスト教絵画に登場する人物と背景を楽しみながら学ぶことができます。エル・グレコの絵画は2点紹介されています。

キリスト教入門度 ★★★★★
コラム充実度 ★★★★★
絵画観やすさ度 ★★★★★

「ライぶらり」は、東京都美術館のアート・コミュニケーター(愛称:とびラー)がお贈りする不定期発行の情報誌です。特別展・企画展に関連したおすすめの書籍をご紹介します。掲載されている書籍は全て、美術情報室で閲覧が可能です。